

公式試合記録 (15人用)



公益社団法人 日本ホッケー協会

大会名 平成25年度全国高等学校総合体育大会ホッケー競技大会

種別 女子 | 試合番号 ⑮ | 年 月 日 H 25 | 8 | 5 | 時間 11:05 | 場所 九重町活きいきランド | ピッチ 人工芝(L)

チーム名
埼玉県立飯能高等学校

試合	0	-	4
(前半)	0	-	3
(後半)	0	-	1
延長	-	-	-
S O	-	-	-

チーム名
天理高等学校

先発	No.	氏名	G	Y	R
✓	1	南 有 紗			
✓	2	佐 野 彩 水			
✓	3	三 島 彩 葉			
✓	4	荻 野 美 月			
✓	⑤	米 山 千 春			
✓	6	池 田 美 穂			
✓	7	山 崎 ほのか			
✓	8	新 井 玲 菜			
✓	9	松 本 ひかる			
✓	10	大 野 圭奈子			
18	11	佐 藤 真 衣			
	12	佐 野 美 樹			
	13	秋 元 真 有			
✓	14	馬 場 玲 奈			
29	15	大 附 沙 也			

先発	No.	氏名	G	Y	R
✓	1	中 村 瑛 香			
✓	2	武 田 和 紗			
✓	③	藤 富 萌 子			
✓	4	田 中 ゆきの			
✓	5	川 原 愛 菜			
✓	6	森 川 芽 栄			
✓	7	松 島 育 美			
✓	8	柳 本 や え			
✓	9	徳 原 悠 美			
✓	10	小 林 千 紘			
✓	11	松 島 朋 美			
	12	寺 田 小 雪			
	13	山 下 はるな			
	14	小 野 まどか			
	15	三 宅 奈 那			

特記事項

監督 鯨井 暢

監督 笠井 要一

アンパイア 元宗 宏寿

アンパイア 成田 健一

サポーターUP

サポーターUP

ジャッジ 小川 克己

リザーブアンパイア 中元 大輔

ジャッジ 金藤 理恵

T. O. 柵山 文夫

チーム	時間	No.	種	スコア
天理	9	10	FG	0-1
天理	16	6	PC	0-2
天理	22	10	FG	0-3
天理	70	3	FG	0-4
				-

チーム	時間	No.	種	スコア
				-
				-
				-
				-
				-

チーム	時間	No.	種	スコア
				-
				-
				-
				-
				-

戦 評 用 紙



公益社団法人 日本ホッケー協会

大会名 **平成25年度全国高等学校総合体育大会ホッケー競技大会**

種別	試合番号	年	月	日	時間	場所	ピッチ
女子	⑮	H	25	8	5	11:05	九重町活いきランド 人工芝(L)

チーム名	試合	0	—	4	チーム名
埼玉県立飯能高等学校	(前半	0	—	3	天理高等学校
	(後半	0	—	1	
	延長	—	—	—	
	S O	—	—		

先発	背番号	氏名	G	Y	R
✓	1	南 有 紗			
✓	2	佐 野 彩 水			
✓	3	三 島 彩 葉			
✓	4	荻 野 美 月			
✓	⑤	米 山 千 春			
✓	6	池 田 美 穂			
✓	7	山 崎 ほのか			
✓	8	新 井 玲 菜			
✓	9	松 本 ひかる			
✓	10	大 野 圭奈子			
18	11	佐 藤 真 衣			
	12	佐 野 美 樹			
	13	秋 元 真 有			
✓	14	馬 場 玲 奈			
29	15	大 附 沙 也			

先発	背番号	氏名	G	Y	R
✓	1	中 村 瑛 香			
✓	2	武 田 和 紗			
✓	③	藤 富 萌 子			
✓	4	田 中 ゆきの			
✓	5	川 原 愛 菜			
✓	6	森 川 芽 栄			
✓	7	松 島 育 美			
✓	8	柳 本 や え			
✓	9	徳 原 悠 美			
✓	10	小 林 千 紘			
✓	11	松 島 朋 美			
	12	寺 田 小 雪			
	13	山 下 はるな			
	14	小 野 まどか			
	15	三 宅 奈 那			

TO	柵山 文夫	ジャッジ	小川 克己	アンパイア	元宗 宏寿	成田 健一
----	-------	------	-------	-------	-------	-------

【戦 評】

飯能高校のセンターパスにより、前半戦が開始された。天理が押し気味に試合を運ぶ。前半5分、右サイドの攻撃から、天理がPCを取得。#3藤富がリバースシュートを放つが、わずかに外れる。前半9分、#8柳本からのロングボールを#10小林がリバースでタッチシュートし先制する。その後も、攻撃の手を緩めない天理は、猛攻を仕掛け、前半16分PCを取得。#6森川が強烈なヒットシュートを決め、0-2とする。前半22分、右サイドから#6森川がセンタリングし、#5川原がシュート、#10小林がこぼれた浮き球をうまく押し込む。反撃したい飯能は、中央のショートパスからチャンスを作り、シュートを放つが天理GK#1中村の好セーブに得点することができない。ピンチを凌いだ天理は、#8柳本を中心に安定したゲームを組み立て、何度かPCを取得することができず0-3のまま前半終了。後半始まり、飯能がボールを支配し始める。右サイドの攻撃からゴール前にボールを入れるが噛み合わず、チャンスを活かすきれない。中盤での攻防が続く中、天理が左サイドから一瞬の隙を突き、PSを取得するも、飯能GK#1南にセーブされ追加点を奪えない。追加点が欲しい天理は、足を使った動きのあるドリブルで、飯能陣内に攻め込みファウルを誘う。PCのチャンスを得るが、押し込めない。一点が欲しい飯能だが、天理の隙のない守備に打つ手がなく、後半終了間際、集中力の切れた飯能DFを、天理#3藤富が振り切りリバースシュートを決める。結局、前半0-3、後半0-1、トータル0-4で天理が飯能に快勝する。天理は準決勝に進出する。